

# 青森市新総合計画

—元気都市あおもり 市民ビジョン—

## 後期基本計画

### フォローアップ表

第3分科会



新たな総合計画の行政分野から見た後期基本計画との対比表

新たな総合計画		後期基本計画			
分科会	行政分野	行政分野	施策番号	施策名	
第1	産業・雇用	新産業創出	3-3-1	地域資源を活かした青森らしい産業の育成	
		商工業・商店街	3-3-2	地場産業の経営体質の強化	
		商工業・商店街	3-3-4	地域と一体となった商店街の形成	
		企業立地	3-4-1	本市の強みを活かした企業誘致の推進	
		雇用	3-4-2	仕事と生活の調和のとれた働き方の促進	
		観光	3-5-1	広域観光の推進	
	観光	観光	3-5-2	観光資源の充実	
		観光	3-5-3	受入態勢の充実	
		観光	3-5-4	国内外からの誘客の推進	
		農林水産業	3-1-1	意欲ある担い手の育成	
	農林水産業	農林水産業	3-1-2	足腰の強い農業経営の促進	
		農林水産業	3-1-3	競争力の高い漁業経営の促進	
		農林水産業	3-1-4	あおり商品の販売力の強化	
		農林水産業	3-2-1	農地の維持・保全	
		農林水産業	3-2-2	森林の維持・保全	
		農林水産業	3-2-3	漁港・漁場環境の維持・保全	
		商工業・商店街	3-3-3	流通機能の強化	
		第2	子育て支援	子育て支援	2-4-1
子育て支援	2-4-2			子ども支援の充実	
子育て支援	2-4-3			子育て支援の充実	
学校教育	4-1-1			教育活動の充実	
学校教育	4-1-2			教育環境の充実	
学校教育	4-1-3			就学指導・支援の充実	
文化	文化・芸術		4-3-1	文化・芸術活動の推進	
	文化・芸術		4-3-2	文化芸術資源の継承・まちづくりへの活用	
	文化・芸術		4-3-3	文化財の保存・発信	
スポーツ	スポーツ		4-4-1	スポーツ・レクリエーション活動の推進	
	スポーツ		4-4-2	ウィンタースポーツの推進	
	スポーツ		4-4-3	競技水準の向上	
市民協働	住民自治・市民参加		1-1-1	市民参加・参画による政策の推進	
	住民自治・市民参加		1-1-2	市民との情報共有の充実	
	市民協働		1-1-3	地域コミュニティの活性化	
	市民協働		1-1-4	多様な主体の連携協働によるまちづくりの推進	
その他	行政経営		1-2-1	戦略的な行財政運営	
	行政経営		1-2-2	職員の能力開発と組織の活性化	
	行政経営	1-2-3	行政サービスの利便性の向上		
	行政経営	1-2-4	行政サービスへの民間活力の活用		
	生涯学習・社会教育	4-2-1	生涯を通じた学習活動の推進		
	生涯学習・社会教育	4-2-2	未来を切り拓く青少年の育成		
	都市間交流	6-1-1	活発な移住・交流を支える広域交流拠点の形成		
	土地利用・市街地	6-1-3	暮らしやすい日常生活拠点の形成		
	第3	健康づくり	健康づくり	2-1-1	生涯を通じた健康づくりの促進
			健康づくり	2-1-2	感染症対策の充実
医療			2-1-3	地域医療の充実	
医療			2-1-4	国民健康保険制度の安定的運用	
介護			2-2-3	介護サービスの充実	
保健衛生			5-2-4	衛生的な生活環境の確保	
障がい者福祉		障がい者福祉	2-3-1	障がい者の地域生活支援の充実	
		障がい者福祉	2-3-2	障がい者の自立した生活の確保	
高齢者福祉		高齢者福祉	2-2-1	地域包括ケア体制の充実	
		高齢者福祉	2-2-2	高齢者の生きがい・元気づくりの充実	
男女共同参画		男女共同参画・人権・平和	2-6-1	男女共同参画社会の形成	
その他		社会福祉	2-5-1	地域福祉の充実	
		社会福祉	2-5-2	生活困窮者の自立促進	
		男女共同参画・人権・平和	2-6-2	互いを尊重し支え合う社会の形成	
		男女共同参画・人権・平和	2-6-3	平和意識の高揚	
		交通安全・防犯	5-4-1	交通安全活動の推進	
		交通安全・防犯	5-4-2	防犯対策の推進	
		消費生活	5-4-3	消費者自立支援対策の推進	
	第4	まちづくり	土地利用・市街地	6-1-2	機能的でにぎわいのある都市拠点の形成
土地利用・市街地			6-2-1	効率的で計画的な土地利用の推進	
景観			6-2-2	緑豊かな美しい都市景観の形成	
住生活			6-3-1	良好な住まいづくりの促進	
交通			6-4-1	広域交通網の充実	
交通			6-4-2	都市内公共交通の充実	
交通			6-4-3	快適な道路環境の確保	
防災・雪対策		防災	5-3-1	防災力・消防力の総合的な強化	
		防災	5-3-2	災害防止対策の推進	
		雪処理	6-3-2	雪対策の推進	
環境		環境保全	5-1-1	自然保護活動の推進	
		循環型社会	5-1-2	ごみの減量化・リサイクルの強化	
		循環型社会	5-1-3	再生可能エネルギーの導入・省エネ活動の促進	
		環境保全	5-2-1	適正な汚水排除・処理の確保	
		環境保全	5-2-2	公害対策の推進	
		循環型社会	5-2-3	適正な廃棄物処理の確保	



## 【行政分野】

### 健康づくり

【後期基本計画における施策数】 6

- 2-1-1 生涯を通じた健康づくりの促進
- 2-1-2 感染症対策の充実
- 2-1-3 地域医療の充実
- 2-1-4 国民健康保険制度の安定的運用
- 2-2-3 介護サービスの充実
- 5-2-4 衛生的な生活環境の確保

1. 施策の基本情報

施策番号		2 - 1 - 1	施策名		生涯を通じた健康づくりの促進		
施策の現状と課題		<p>健康づくりについては、心身ともに健やかに生活できる社会を実現するため、市民が地域において主体的に健康づくり活動に取り組むための環境づくりや、食生活や運動習慣、喫煙などの生活習慣の改善による生活習慣病の予防、さらには健診・検診の受診率向上に向けて取り組むほか、自殺予防を含めたこころの健康づくりを進める必要があります。</p> <p>また、原因不明であり、治療方法も確立していない難病患者や長期にわたり療養を必要とする小児慢性特定疾病児童等、その家族の療養上の不安を軽減するための支援の充実を図る必要があります。</p>					
施策の概要		<p>地域における健康づくり運動の促進をはじめ、生活習慣病の予防や疾病の早期発見・早期治療を進めるとともに、こころの健康づくりを進めます。</p> <p>《地域・学校・職域等連携による健康づくりの推進》《健診・検診受診率の向上》《生活習慣病の予防》《こころの健康づくり》《難病患者の支援》</p>					
目標とする指標		基準値	実績値				傾向
		H27	H28	H29	H30	H31	H32
① がんの標準化死亡率(男性)	目標値	122.5	112.7	109.4	106.1	102.8	100.0
	指標値	122.5	124.7	-	**	**	**
	達成率		90.4%	-	**	**	**
	進捗状況	平成28年度の実績値は目標値を達成できず、かつ前年度より悪化、がんの死亡率が全国より依然として高くなっています。					
<small>全国水準(100)と比較した本市のがんの死亡率</small> <small>(単位：-)</small> <small>(指標の方向：-)</small>		達成度	C				
② がんの標準化死亡率(女性)	目標値	116.3	107.9	106.0	104.1	102.2	100.0
	指標値	116.3	122.2	-	**	**	**
	達成率		88.3%	-	**	**	**
	進捗状況	平成28年度の実績値は目標値を達成できず、かつ前年度より悪化、がんの死亡率が全国より依然として高くなっています。					
<small>全国水準(100)と比較した本市のがんの死亡率</small> <small>(単位：-)</small> <small>(指標の方向：-)</small>		達成度	C				
③ 自殺者の割合	目標値	20.6	19.9	19.4	19.0	18.6	18.1
	指標値	20.6	15.8	-	**	**	**
	達成率		125.9%	-	**	**	**
	進捗状況	実績値は減少傾向にあり、目標値に達している。					
<small>人口10万人当たりの自殺による死亡率</small> <small>(単位：-)</small> <small>(指標の方向：-)</small>		達成度	A				
④ 意識的に健康づくりに取り組んでいる市民の割合	目標値	66.4	67.6	68.8	70.0	71.2	72.4
	指標値	66.4	60.3	-	**	**	**
	達成率		89.2%	-	**	**	**
	進捗状況	平成28年度の実績値は、目標値を達成できず、かつ前年度より割合が低くなっています。					
<small>意識的に健康づくりに対して取り組んでいる市民の割合</small> <small>(単位：%)</small> <small>(指標の方向：+)</small>		達成度	C				
市民意識調査	満足度調査				ニーズ度調査		
	項目内容	健康診断や各種健診・検診、健康相談が受けやすく、自主的に健康づくりに取り組みやすい				H28	第 26 / 75 位
	区分	満足・やや満足	普通	不満・やや不満	わからない・無回答		
年度	H28	25.2%	47.1%	17.7%	10.1%		

※ 「目標とする指標」における達成度  
A・・・順調 B・・・概ね順調 C・・・やや遅れ D・・・遅れ

## 2. 施策における主な事務事業と実績

	事務事業名	実施年度	事業（実績）内容
1	自殺対策事業 (H28～29)	H22～	県の自殺対策強化事業補助金を活用し、自殺予防の普及啓発及び支援の充実に図り、地域における自殺対策力を強化しています。 主な実績として、人材育成事業であるゲートキーパー養成講座の参加者数が、平成28年度は初級講座が62名、フォローアップ講座が43名、平成29年度は初級講座が36名、フォローアップ講座が45名となっています。
2	地域ぐるみの健康づくり 支援事業（負担金） (H28：継続) (H29：拡充)	H21～	健康寿命延伸の取組を更に効果的・効率的に進めるため、平成29年度には、保健・医療、地域、企業、教育等関係機関31団体により新たに「青森市健康寿命延伸会議」を組織し、市民の健康と寿命に影響を及ぼす「がん」、「肥満・糖尿病」の予防、「たばこ対策」を重点課題とし、地域・職域で健康づくりを推進する健康づくりリーダー等、健康づくりのための人材育成を行いながら、市民総ぐるみの健康づくり運動を実施しました。 主な実績として、平成28年度は、健康づくりリーダー育成36名、健康づくりサポーター育成63名、職域健康づくりリーダー育成25名を育成したほか、あおもり100日健康トライアル、青森市民健康アップフォーラムを開催しました。 平成29年度は、健康づくりリーダー育成32名、健康づくりサポーター育成47名、職域健康づくりリーダー31名を育成したほか、あおもり100日健康トライアル、あおもり健康寿命延伸フェアを開催しました。また、全国健康保険協会青森支部と協定を締結し、健康データの共同分析を行い、市民の健康データの見える化を行いました。
3	壮年期健康教育事業 (H28～29：継続)	S58～	生活習慣病の予防や心の健康等健康づくりについて、正しい知識を身につけ活用することができるヘルスリテラシー（健康教養）の向上を目的に、中高年及びその家族を対象に、壮年期健康教育を実施しています。また、生活習慣の中で、全国と比較し心疾患、脳血管疾患の死亡率が高いことから、その要因となる高血圧の病態に重点を置き、各市民センターを拠点に戦略的に「血圧講座」を開催しています。 主な実績として、医師・歯科医師・薬剤師・保健師・栄養士等を講師とした壮年期健康教育の開催回数・延参加者数は、平成28年度は237回・9,672人、平成29年度は240回・9,842人となっています。
4	たばこ対策事業 (H28～29：継続)	H23～	たばこによる健康被害から市民の健康を守ることを目的に、たばこの健康影響に関する正しい知識の普及により、市民・事業者等の意識の醸成を図り、たばこの煙に晒されない環境づくりに向け、平成25年に策定した「青森市たばこの健康被害防止対策ガイドライン」に基づき、受動喫煙防止対策と禁煙対策を行っています。 主な実績として、平成28年度は、たばこの健康被害防止に関する啓発事業を7回、禁煙相談を10回実施したほか、卒煙サポート塾においては22名の受講者がありました。 平成29年度は、たばこの健康被害防止に関する啓発事業を6回、禁煙相談を10回実施したほか、卒煙サポート塾においては22名の受講者がありました。

## 3. 施策の総合評価と今後の課題

<p><b>【総合評価】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種がん検診の受診勧奨、禁煙支援・受動喫煙防止対策等に取り組んできたものの、「がんの標準化死亡比」の指標値は男女とも全国と比較して高い状況にあり、目標値に達していない状況です。</li> <li>・「自殺者の割合」の指標値は大幅に減少しており、順調に推移しています。</li> <li>・「意識的に健康づくりに取り組んでいる市民の割合」の指標値は減少しており、目標値に達していない状況です。</li> </ul> <p><b>【今後の課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・心身ともに健やかに生活できる社会を実現するため、市民のヘルスリテラシー（健康教養）の向上を図り、食生活や運動習慣、喫煙などの生活習慣の改善による生活習慣病の予防、健診・検診の受診率向上に向けて取り組む必要があります。</li> <li>・また、自殺予防を含めたこころの健康づくりや、難病患者の支援を推進していく必要があります。</li> </ul>
--

## 4. 今後踏まえるべき環境変化

<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年市区町村別生命表の公表（平成30年4月）</li> <li>・健康増進法の一部改正（受動喫煙防止対策）（平成32年4月）</li> </ul>
--

1. 施策の基本情報

施策番号		2 - 1 - 2	施策名		感染症対策の充実				
施策の現状と課題		感染症対策については、これまでの感染症に加え、新型インフルエンザなどの新たな感染症などへの対応も必要となっており、市民の健康被害を最小限に抑えるため、感染症の予防やまん延防止に向け、迅速かつ的確に対応していく必要があります。							
施策の概要		感染症の予防とまん延防止対策を進めます。 《感染症の予防対策》《感染症のまん延防止対策》							
目標とする指標		基準値	実績値					傾向	
		H27	H28	H29	H30	H31	H32		
① 麻しん・風しん予防接種の接種率 <small>（麻しん・風しん予防接種の第2期（6歳児）の予防接種を受けた子どもの割合）</small> <small>（単位：％） （指標の方向：＋）</small>	目標値	92.9	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0		
	指標値	92.9	95.2	-	**	**	**		
	達成率	/	100.2%	-	**	**	**		
	達成度※	平成28年度の実績値は目標値に達しています。							
	進捗状況	A							
② 結核罹患率 <small>（人口10万人当たりの結核発病者の割合）</small> <small>（単位：－） （指標の方向：－）</small>	目標値	13.4	12.7	12.0	11.3	10.6	10.0		
	指標値	13.4	10.9	-	**	**	**		
	達成率	/	116.5%	-	**	**	**		
	達成度※	平成28年の実績値は目標値に達しています。							
	進捗状況	A							
③ <small>（単位：） （指標の方向：）</small>	目標値								
	指標値								
	達成率	/							
	達成度※								
	進捗状況								
④ <small>（単位：） （指標の方向：）</small>	目標値								
	指標値								
	達成率	/							
	達成度※								
	進捗状況								
市民意識調査	満足度調査						ニーズ度調査		
	項目内容	各種予防接種の実施による感染症予防の推進とともに、医療機関などとの連携のもと、感染症のまん延防止対策が図られている						H28	第 68 / 75 位
	区分	満足・やや満足	普通	不満・やや不満	わからない・無回答				
年度	H28	17.4%	45.6%	13.5%	23.5%				

※ 「目標とする指標」における達成度  
A・・・順調 B・・・概ね順調 C・・・やや遅れ D・・・遅れ



## 2. 施策における主な事務事業と実績

	事務事業名	実施年度	事業（実績）内容
1	特定感染症検査等事業 (H28～H29:継続)	H18～	特定感染症(HIV・性感染症・ウイルス性肝炎等)の早期発見及びまん延防止を目的に、検査を行っています。 主な実績として、エイズ等検査実施者実数(HIV、梅毒、クラミジア、B・C型肝炎)が、平成28年度は163人であり、平成29年度は164人となっています。
2	感染症予防事業 (H28～H29:継続)	H18～	感染症予防の周知啓発及びまん延の防止を目的に、感染経路の調査、接触者健診、発生動向調査等のほか、周知啓発として予防策の情報提供、健康教育等を行っています。 主な実績として、健康教育を平成28年度は24回開催し、合計3,378人の参加があり、平成29年度は18回開催し、合計2,166人の参加となっています。
3	麻しん・風しん予防接種事業 (H28～H29:継続)	S53～	乳幼児の麻しん(はしか)及び風しん(3日はしか)の感染を予防し、発生及びまん延を防止するため、指定医療機関において、通年で麻しん・風しんの予防接種を実施しています。 主な実績として、平成28年度は、接種者が第1期(1歳～2歳未満)では1,981件・接種率101.6%、第2期(小学校就学前の1年間にある幼児)では2,079件・接種率95.2%となっており、国が示す接種率目標95%を達成しています。 ※平成29年度実績は5月中旬
4	B型肝炎予防接種事業 (H28:新規) (H29:継続)	H28～	乳児のB型肝炎の感染を予防し、発生及びまん延を防止するため、指定医療機関において通年で、B型肝炎の予防接種を実施しました。平成28年10月1日から、定期接種として実施しています。 主な実績として、平成28年度は接種者が2,757件となっております。 ※平成29年度実績は5月中旬

## 3. 施策の総合評価と今後の課題

### 【総合評価】

- ・「麻しん・風しん予防接種の接種率」の指標値は、接種勧奨を強化したことにより、目標値である国が示す接種率95%以上を達成しており、順調に推移しています。
- ・「結核罹患率」の指標値は減少しており、順調に推移しています。

### 【今後の課題】

- ・結核患者における65歳以上の高齢者の割合が70%を超えていることから、引き続き、定期健康診断の重要性を周知啓発し、受診行動につなげていく必要があります。

- ・2020年の東京オリンピック、パラリンピック開催に伴う、各国のキャンプ・合宿の誘致による、輸入感染症の発生のおそれ
- ・国は、おたふくかぜ、ロタウイルスについて、引き続き定期予防接種化へ向け、技術的課題等の整理及び検討中

1. 施策の基本情報

施策番号	2 - 1 - 3	施策名	地域医療の充実					
施策の現状と課題	<p>地域医療については、市民の適切な受診環境づくりを推進するため、適切な受診行動ができるよう、各医療機関の機能や役割など、医療に関する必要な情報の発信に努める必要があります。</p> <p>また、患者の状態に応じた医療が提供できるよう医療機関相互の連携強化を推進するとともに、救急医療については初期救急医療から二次、三次（救命）救急医療へと適切に連携できる体制と機能の充実に努める必要があります。</p> <p>地域医療を支える医師・看護師などの医療従事者の確保対策を推進する必要があります。</p>							
施策の概要	<p>持続可能な医療体制を構築し、適時適切な医療を受けることができる環境づくりを推進します。</p> <p>《持続可能な医療体制の構築》《適時適切な受診行動ができる環境づくり》《救急医療体制の充実》</p>							
目標とする指標		基準値	実績値					傾向
		H27	H28	H29	H30	H31	H32	
① 医師の割合  （人口10万人当たりの医師の割合）  （単位：－） （指標の方向：＋）	目標値	214.4	218.7		223.0		227.3	
	指標値	214.4	221.4	-	**	**	**	
	達成率	/	101.2%	-	**	**	**	
	達成度※ 進捗状況	指標は、厚生労働省の「医師・歯科医師・薬剤師調査」による隔年の値となっており、平成28年度は概ね目標どおりとなっています。						
② 医療体制への満足度  （症状に応じて身近なところで適切な医療が受けられると思う市民の割合）  （単位：％） （指標の方向：＋）	目標値	26.8	27.8	28.8	29.8	30.8	31.8	
	指標値	26.8	27.2	-	**	**	**	
	達成率	/	97.8%	-	**	**	**	
	達成度※ 進捗状況	基準値より増加し概ね目標どおりとなっています。また、基礎データとなる調査の内容が平成29年度から変更となったため平成29年度は実績なしとなっています。						
③  （単位：） （指標の方向：）	目標値							
	指標値							
	達成率	/						
	達成度※ 進捗状況							
④  （単位：） （指標の方向：）	目標値							
	指標値							
	達成率	/						
	達成度※ 進捗状況							
市民意識調査	満足度調査					ニーズ度調査		H28 第7 / 75位
	項目内容	症状に応じて身近なところで適切な医療が受けられる					H28	
	区分	満足・やや満足	普通	不満・やや不満	わからない・無回答			
	年度	H28	27.2%	39.4%	26.3%	7.1%		

※ 「目標とする指標」における達成度  
A・・・順調 B・・・概ね順調 C・・・やや遅れ D・・・遅れ

## 2. 施策における主な事務事業と実績

	事務事業名	実施年度	事業（実績）内容
1	在宅当番医制運営事業 (H28～29：継続)	H9～	休日及び夜間に怪我や病気をした方の治療を行うため、青森市医師会会員の医療機関を当番制で開院しています。 主な実績として、在宅当番医診療日数及び利用者数が平成28年度は365日、夜間5,475人、休日2,257人、平成29年度は365日、夜間4,746人、休日2,208人となっています。
2	急病センター運営管理事業 (H28～29：継続)	S53～	夜間及び休日の昼間帯の診療を行う急病センターを運営し、市民の救急時における初期救急医療を確保しています。 主な実績として、急病センター利用者が28年度は8,680人、平成29年度は8,847人となっています。
3	病院群輪番制病院事業 (補助金) (H28～29：継続)	S53～	急病センター等からの重症患者搬送先である病院群輪番制病院において、休日・夜間における入院等を必要とする重症救急患者の医療を確保しています。 主な実績として、病院群輪番制診療日数及び当番日における診療患者数が平成28年度は365日、青森県立中央病院5,010人、青森市民病院7,305人、近藤病院98人、あおもり協立病院631人となっています。
4	医師確保対策特別事業 (負担金) (H28～29：継続)	H17～	青森県における深刻な医師不足を解消するため、県内医師の最大供給源である弘前大学医学部との連携を促進し、同大学医学部への本県人材の進学誘導及び県内定着ならびに地域医療の確保を図っています。 主に本県高校出身の同大学医学部入学生に対し、入学金・授業料等の負担を代償するとともに、一定期間の県内自治体医療機関等の勤務を義務付けています。 主な実績として、修学資金利用者数が平成28年度は278名、平成29年度は292名となっています。

## 3. 施策の総合評価と今後の課題

### 【総合評価】

- ・「医師の割合」の指標値は、医師確保対策特別事業などの取組により医師数が増加傾向にあることから、順調に推移しています。
- ・「医療体制への満足度」の指標値は、在宅当番医制運営事業や急病センター運営管理事業、病院群輪番制病院事業などの取組により概ね目標値どおり推移しています。

### 【今後の課題】

- ・夜間在宅当番医への参加医院数の減少に対応する必要があります。
- ・二次救急医療機関で、軽症者や初期救急患者が受診している実態があり、本来果たすべき二次救急医療機関としての機能に支障をきたしていることから、各医療機関の機能や役割など、医療体制に関する必要な情報の発信に努める必要があります。

## 4. 今後踏まえるべき環境変化

1. 施策の基本情報

施策番号		2 - 1 - 4	施策名		国民健康保険制度の安定的運用			
施策の現状と課題		国民健康保険制度については、高齢社会の進展や医療の高度化に伴い、さらなる医療費の増加が見込まれ、財政運営は厳しい状況にあることから、被保険者の健康維持増進及び医療費の適正化を図るとともに、収納率の向上に努めるなど、構造的に財政基盤が脆弱である国民健康保険財政の健全化を通じて安定的な運用を図る必要があります。						
施策の概要		国民健康保険制度の健全で安定的な運営を進めます。 《適正な保険給付》《被保険者の健康維持・増進》《収納率の向上》						
目標とする指標		基準値	実績値					傾向
		H27	H28	H29	H30	H31	H32	
<b>① 特定健康診査受診率</b> <small>(40歳から74歳の青森市国保被保険者数のうち、特定健康診査を受診した市民の割合)</small> (単位：%) (指標の方向：+)	目標値	39.5	55.0	60.0	60.0	60.0	60.0	
	指標値	39.5	40.0	-	**	**	**	
	達成率	/	72.7%	-	**	**	**	
	進捗状況	達成度※	受診率は、横ばい傾向にあり、目標値には達していません。					
<b>② 特定保健指導実施率</b> <small>(特定健康診査受診者で、「要指導」となった40歳から75歳未満の者うち、保健指導を終了した市民の割合)</small> (単位：%) (指標の方向：+)	目標値	38.2	55.0	60.0	60.0	60.0	60.0	
	指標値	38.2	40.7	-	**	**	**	
	達成率	/	74.0%	-	**	**	**	
	進捗状況	達成度※	平成28年度実績値は平成26年度に比べ2.5ポイントの増加であるが、目標値には達していません。					
<b>③ 国民健康保険税収納率</b> <small>(当該年度課税分の国民健康保険税の収納率)</small> (単位：%) (指標の方向：+)	目標値	-	89.68	90.01	90.71			
	指標値	88.29	89.47	-	**	**	**	
	達成率	/	99.8%	-	**	**	**	
	進捗状況	達成度※	実績値は平成27年度に比べH28年度は増加しているが、青森県国民健康保険運営方針における収納率目標値 (H28年度89.68%) を下回っています。					
<b>④</b> (単位：) (指標の方向：)	目標値							
	指標値							
	達成率	/						
	進捗状況	達成度※						
<b>市民意識調査</b>	項目内容	医療費などの適正な給付を推進し、被保険者の健康維持・増進が図られている					H28 第 15 / 75 位	
	区分	満足・やや満足	普通	不満・やや不満	わからない・無回答			
	H28	21.3%	47.1%	16.1%	15.4%			

※ 「目標とする指標」における達成度  
 A・・・順調 B・・・概ね順調 C・・・やや遅れ D・・・遅れ

## 2. 施策における主な事務事業と実績

	事務事業名	実施年度	事業（実績）内容
1	医療費適正化対策事業 (H28～29：継続)	S58～	医療機関等からの診療報酬等の誤請求や交通事故等の第三者行為による医療費支出を防止するため、国保資格と受診等の点検、レセプトの二次点検業務の強化に努めるとともに、交通事故等に係る保険適用の医療費支出の点検、損害保険会社等への請求をし、医療費の適正支出に努めています。さらに、国保事業の健全な運営に資することをねらいとして、国保加入者の医療費に対する関心を高めることや医療機関等の不正請求の防止を図るため、医療費の額等を通知しており、加えて、ジェネリック医薬品医療差額通知を年6回に増やして実施しています。 主な実績として、レセプト点検・第三者求償等により是正された医療費が平成28年度は117,647千円となっています。
2	訪問保健指導事業 (H28～29：継続)	S63～	重複・頻回受診等の被保険者に対して健康意識の向上と適正受診による医療費の適正化を図るため、また、運動や食事等の生活習慣の改善を促すため保健師等が保健指導を行っています。平成28年度からは、糖尿病発症予防を目的とした保健指導を実施しています。 重複・頻回受診等の訪問指導実施件数は、平成28年度668件、平成29年度327件となっており、糖尿病発症予防のための保健指導は、平成28年度86名、平成29年度54名（H30.3月末時点）の方を対象に実施しています。
3	特定健康診査事業 (H28～29：継続)	H20～	糖尿病等の生活習慣病の発症や重症化を予防するため、メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の該当者及び予備群を特定健康診査によりの確に抽出し、減少させることを目的として、メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）に着目した特定健康診査を市の指定医療機関において通年で実施するとともに、青森県総合健診センター、各市民センター等において4月末から3月中旬まで集団健診を実施しています。 主な実績として、平成28年度の特定健康診査受診率は40.0%となっています。
4	特定保健指導事業 (H28～29：継続)	H20～	メタボリックシンドローム該当者及びその予備軍の方々を対象に、生活習慣の改善、生活習慣病の予防を図るため、個別の健康課題に即した健康支援プログラムを通年で提供しています。また、特定保健指導の実施率向上のため、地域に向いての保健指導のほか、市民センター・福祉館等での集団健診を受けたかたを対象に「健診結果説明会」を開催するなど、面談機会の確保に努めています。 主な実績として、平成28年度の特定保健指導実施率は40.7%となっています。

## 3. 施策の総合評価と今後の課題

<p><b>【総合評価】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・被保険者の健康づくりや健康管理意識の啓発のため、メタボリックシンドロームに着目した特定健康診査や特定保健指導を実施していますが、「特定健康診査受診率」及び「特定保健指導実施率」の指標値は、依然として目標値には達していません。</li> <li>・「国民健康保険税収納率」の指標値は、平成27年度に比べ平成28年度は増加しているものの、目標値である青森県国民健康保険運営方針における収納率（平成28年度89.68%）を下回っています。</li> </ul> <p><b>【今後の課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施策の指標である「特定健康診査受診率」及び「特定保健指導実施率」については、自主的な健康意識の向上とさらなる受診勧奨などを推進しつつ、医療費の伸びの抑制に努めていく必要があります。</li> <li>・収納率向上については、催告、財産調査及び差押え、口座振替加入促進、きめ細かな納付相談を行いつつ、特に電話催告、差押え、口座振替の加入促進を一層強化していく必要があります。</li> </ul>
--

## 4. 今後踏まえるべき環境変化

- ・平成30年度から県へ国保財政運営責任主体が移行しました。

1. 施策の基本情報

施策番号		2 - 2 - 3		施策名	介護サービスの充実				
施策の現状と課題		介護を支える重要な担い手である介護従事者を育成し、高齢者が安心してサービスを受けることができるよう、持続可能な介護体制の構築や、サービスの適正化と質の向上を図るとともに、介護保険財政の健全化と安定的な運用を図る必要があります。							
施策の概要		利用者が、介護サービスを安心して利用できる持続可能な介護体制の構築と介護保険制度の安定的な運営を進めます。 《持続可能な介護体制の構築》《適正なサービス提供体制の確立》							
目標とする指標		基準値	実績値					傾向	
		H27	H28	H29	H30	H31	H32		
① 施設入所待機者の割合 <small>（要介護度4または5の要介護認定者のうち、在宅の待機者の割合）</small>  （単位：％） （指標の方向：－）	目標値	3.3	3.2	3.1	3.0	2.9	2.9		
	指標値	3.3	2.1	2.1	**	**	**		
	達成率	/	152.4%	147.6%	**	**	**		
	進捗状況	指標値は順調に推移し、目標値に達していません。							
達成度※		A							
② 高齢者福祉に関する満足度 <small>（高齢者の介護や在宅支援などのサービスが利用しやすいと思う市民の割合）</small>  （単位：％） （指標の方向：＋）	目標値	12.0	12.6	13.3	13.9	14.6	15.2		
	指標値	12.0	14.5	-	**	**	**		
	達成率	/	115.1%	-	**	**	**		
	進捗状況	指標値は目標値に達しており、順調に推移しています。							
達成度※		A							
③	目標値								
	指標値								
	達成率	/							
	進捗状況								
達成度※									
④	目標値								
	指標値								
	達成率	/							
	進捗状況								
達成度※									
市民意識調査	満足度調査						ニーズ度調査		
	項目内容	介護サービスの質の確保・向上が図られている						H28	第 6 / 75 位
	区分	満足・やや満足	普通	不満・やや不満	わからない・無回答				
	年度								
H28	10.3%	34.4%	22.3%	33.0%					

※ 「目標とする指標」における達成度  
 A・・・順調 B・・・概ね順調 C・・・やや遅れ D・・・遅れ

## 2. 施策における主な事務事業と実績

	事務事業名	実施年度	事業（実績）内容
1	老人福祉施設整備費補助金交付事務（補助金） （H28：拡充、H29：継続）	**～	高齢化が進行する中、高齢者が安心してサービスを受けることができるよう、老人福祉施設の老朽化や入所待機者の増等により整備が必要な施設の整備費用を補助し、安全で良好な施設環境を確保しています。 主な実績としては、市整備費補助金交付施設数が平成28年度は7施設（スプリンクラー設備）、平成29年度は43施設（スプリンクラー設備：5施設、防犯カメラ等：34施設、地域密着型介護老人福祉施設：1施設、小規模多機能型居宅介護事業所：3施設）となっています。
2	介護サービス事業者指定事業（中核市）	H24～	事業者からの申請により、サービスの種類ごとに、指定基準を満たしている事業者に対し指定を行うほか、指定事業者の基準適合状況を定期的に確認するため、6年ごとに指定の更新を行うなどにより、介護サービスの提供体制を確保しています。 主な実績として、指定を受けた介護サービス事業所数が平成28年度末現在では749事業所、平成29年度末現在では995事業所となっています。
3	介護サービス適正実施指導事業 （H28：拡充、H29：継続）	H21～	介護サービス利用者の生活支援及び自立支援の視点に基づいたケアプラン点検の実施等により、適切な介護サービスの確保、不適切な給付の削減、介護給付費や介護保険料増大の抑制、持続可能な介護保険制度の構築を図っています。平成28年度からは、介護サービスの充実に向けたケアマネジメントの向上を図るため、ケアマネジャーを対象とした研修会を実施しています。 主な実績として、ケアプランの点検件数が平成28年度は38件、平成29年度は55件となっています。
4	介護保険認定調査事業 （H28～29：継続）	H12～	介護保険サービスを必要とする被保険者の介護認定申請受付から認定、被保険者証の送付までを行っています。 主な実績として、申請件数が平成28年度は17,585件、平成29年度は17,523件となっています。

## 3. 施策の総合評価と今後の課題

### 【総合評価】

- ・「施設入所待機者の割合」の指標値は、施設機能の充実や施設整備などに対する支援、指定基準に基づいた適正な介護サービス事業所の指定などの取組により、減少傾向となっており、順調に推移しております。
- ・「高齢者福祉に関する満足度」の指標値は上昇傾向となっており、順調に推移しております。

### 【今後の課題】

- ・介護保険第1号被保険者及び要介護等認定者数が増加傾向で推移していることから、利用者が安心して介護サービスを受けることができるよう、持続可能な介護体制の構築や、サービスの適正化を図る必要があります。

## 4. 今後踏まえるべき環境変化

1. 施策の基本情報

施策番号	5 - 2 - 4	施策名	衛生的な生活環境の確保					
施策の現状と課題	生活衛生の確保については、生活衛生施設の衛生環境や食品に対する信頼と安全性を確保するため、施設の監視指導や衛生知識の普及・向上などに努めるほか、ペットの飼い主に対し、守るべきマナーやモラルの向上を図ります。また、核家族化や少子高齢化の進展などにより多様化する市民の墓地需要に対応していく必要があります。							
施策の概要	食品衛生及び生活衛生対策を進めるとともに、生活に潤いを与えるペットなどの動物愛護意識や管理対策を進め、身近な暮らしにおける衛生的な環境の確保を図ります。 《食品衛生及び生活衛生対策の推進》《市営霊園などの適切な整備と管理運営》《動物愛護管理対策の推進》							
目標とする指標	基準値	実績値					傾向	
	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
① 狂犬病予防注射接種率  (犬の登録頭数に占める、1年間に狂犬病予防注射を接種した割合)  (単位：％) (指標の方向：＋)	目標値	81.2	82.8	83.6	84.4	85.2	86.0	
	指標値	81.2	83.6	83.0	**	**	**	
	達成率	/	101.0%	99.3%	**	**	**	
	達成度 <sup>※</sup> 進捗状況	平成29年度は概ね目標の値を達成しており、接種率はほぼ横ばいです。						
② 犬・猫など引取数  (傷病動物など、さまざまな理由から飼育されなくなった動物を引き取った頭数)  (単位：頭) (指標の方向：－)	目標値	225	197	183	169	155	141	
	指標値	225	107	178	**	**	**	
	達成率	/	184.1%	102.8%	**	**	**	
	達成度 <sup>※</sup> 進捗状況	平成29年度は目標値を達成していますが、引取数は増加しました。						
③ 食中毒発生件数  (1年間に発生した食中毒の件数)  (単位：件) (指標の方向：－)	目標値	4	0	0	0	0	0	
	指標値	4	3	1	**	**	**	
	達成率	/	-	-	**	**	**	
	達成度 <sup>※</sup> 進捗状況	平成28・29年度の食中毒発生件数は減少傾向にあります。						
④  (単位：) (指標の方向：)	目標値							
	指標値							
	達成率	/						
	達成度 <sup>※</sup> 進捗状況							
市民意識調査	満足度調査					ニーズ度調査		
	項目内容	食中毒の発生防止などの食品衛生や害虫対策、井戸水の水質検査などの生活衛生対策が進むとともに、ペットの適正な健康管理や愛護意識の高揚が図られている					H28	第 63 / 75 位
	区分	満足・やや満足	普通	不満・やや不満	わからない・無回答			
	年度	H28	15.0%	47.5%	12.1%	25.3%		

※ 「目標とする指標」における達成度  
A・・・順調 B・・・概ね順調 C・・・やや遅れ D・・・遅れ



## 2. 施策における主な事務事業と実績

	事務事業名	実施年度	事業（実績）内容
1	狂犬病予防対策事業 (H28～29：継続)	H12～	飼い犬の登録を啓発・促進し、狂犬病予防と野犬発生防止に努めました。 飼い主の便宜を図るため、春と秋に、市内各所に犬登録受付及び狂犬病予防注射実施のための会場を設置しました。 年1回の狂犬病予防注射の徹底を図るため、飼い主に狂犬病予防注射啓発ハガキを送付し、狂犬病予防注射実施者には、予防注射済票を交付するとともに、未接種の飼い主には、電話により接種を促しました。 犬の飼育モラルの高揚を図るため、広報あおもり・テレビ広報・HPによる啓発を行うほか、必要に応じ市内町会のチラシ配布及びポスター掲示を行いました。
2	犬・猫等引取収容事業 (H28～29：継続)	H18～	犬猫の飼い主から当該犬猫の引取りを求められた場合、必要な指導のもと、やむを得ない場合に引取りを行ったほか、所有者不明の犬又は猫の引取りをその取得者等から求められた場合に引取りを行いました。 また、市民から傷病動物（所有者不明のペット等）の情報が寄せられた場合、その動物の収容を行いました。 捕獲した犬については飼い主への返還についても取り組みました。
3	食中毒調査処理事業 (H28～29：継続)	H18～	下痢・腹痛・嘔吐等の食中毒症状を呈した発症者の発生について、本人・家族・担当医師などから報告を受け、発症者の喫食状況・発症状況を調査するとともに、関連する食品及び関係施設（飲食店等）などを調査しました。 必要に応じ、発症者の糞便等の検査を行い、発症原因（食中毒菌等）の関与について確認を行いました。（検査内容によっては青森県環境保健センター等に検査を依頼しました。） 調査の結果、原因となる食品及び施設が特定された場合、原因食品の回収・廃棄命令や施設の営業停止命令などの行政処分を行い、被害の拡大・再発の防止を図りました。
4	食品関係衛生監視事業 (H28～29：継続)	H18～	市内の食品関係事業者等に対して、定期的に施設への立入調査を実施するなどし、衛生状態の確認・指導を行うことにより、事業者等の衛生意識向上を図り、食中毒発生防止につなげました。 監視の結果、違反を発見した場合、指導や営業改善命令、営業停止などの行政処分を行いました。 平成28年度は5,181件、平成29年度は4,991件の監視を実施しました。

## 3. 施策の総合評価と今後の課題

### 【総合評価】

「狂犬病予防注射接種率」は、「定期狂犬病予防集合注射」を毎年度2回実施し、未接種の飼い主に対しては、電話により接種を促すとともに、市内動物病院とも連携し、意識啓発に努めた結果、全国平均71.4%（平成28年度）を上回り、指標である実績値は、概ね目標値を達成しています。

一方で、「犬・猫など引取数」は、指標である実績値は、目標値を達成しているものの、平成28年度に比べ、平成29年度は、増加しています。飼い主への適正な飼養、終生飼養の意識啓発を行い、自己都合などを理由とした引き取りは拒否していますが、近年の猫ブームの影響や多頭飼いによる飼育崩壊などで引き取り件数が増加しました。

「食中毒発生件数」は、「食品関係衛生監視事業」として、定期的な食品関係事業者等の施設への立入調査や事業者への衛生意識向上を図り、平成29年度における指標である実績値は、1件となりましたが、本来、食中毒は発生してはならないものであり、目標値を0件としているため、達成はできませんでした。

### 【今後の課題】

動物愛護センターにおける本市の犬・猫など引取頭数が、年間200頭前後あることから、減少に向けて引き続き啓発していく必要があります。

食品関係衛生監視を行っていますが、依然として行政処分を行う事案が発生していることから、引き続き監視・指導を行う必要があります。

## 4. 今後踏まえるべき環境変化

--



## 【行政分野】

### 障がい者福祉

【後期基本計画における施策数】 2

- 2-3-1 障がい者の地域生活支援の充実
- 2-3-2 障がい者の自立した生活の確保

1. 施策の基本情報

施策番号	2 - 3 - 1	施策名	障がい者の地域生活支援の充実					
施策の現状と課題	障がい者が、住み慣れた地域で安心して自立した生活を送り、地域社会の一員としてさまざまな人との交流などを通じて共生して暮らすことができるよう、生活支援の充実、相談支援体制の充実により、ニーズに応じたきめ細かなサービスの提供を図るとともに、関係者が連携して虐待防止に努めるほか、地域における居住支援のための機能を集約するなど、地域での生活を包括的に支援する体制を充実する必要があります。							
施策の概要	障がい者が、住み慣れた地域で安心して自立した暮らしができる環境づくりを進めます。また、障がい者のニーズに応じた必要な福祉サービスを安心して受けることができる環境づくりを進めます。 《障がい者の権利擁護》《相談支援の充実》《生活支援の充実》							
目標とする指標		基準値	実績値					傾向
		H27	H28	H29	H30	H31	H32	
① 障がい者福祉に関する相談者数 <small>(障害者相談支援事業、障害児等療育支援事業、精神保健福祉相談事業における相談者実人数)</small>  (単位：人) (指標の方向：+)	目標値	1,551	1,734	1,779	1,825	1,873	1,921	
	指標値	1,551	1,755	-	**	**	**	
	達成率	/	101.2%	-	**	**	**	
	進捗状況	平成28年度において目標値に達しています。						
達成度 <sup>※</sup>	A							
② 障がい者福祉に関する満足度 <small>(障がいのある方が自立した生活を送るための福祉サービスが利用しやすいと思う市民の割合)</small>  (単位：%) (指標の方向：+)	目標値	6.0	6.2	6.4	6.6	6.8	7.0	
	指標値	6.0	6.0	-	**	**	**	
	達成率	/	96.8%	-	**	**	**	
	進捗状況	指標値は横ばいで推移しており、目標値に達していない。						
達成度 <sup>※</sup>	B							
③	目標値							
	指標値							
	達成率	/						
	進捗状況							
達成度 <sup>※</sup>								
④	目標値							
	指標値							
	達成率	/						
	進捗状況							
達成度 <sup>※</sup>								
市民意識調査	満足度調査				ニーズ度調査			
	項目内容	障がいのある方が自立した生活を送るための福祉サービスが利用しやすい				H28	第 40 / 75 位	
	区分	満足・やや満足	普通	不満・やや不満	わからない・無回答			
	年度	H28	6.0%	29.9%	19.3%			44.9%

※ 「目標とする指標」における達成度  
A・・・順調 B・・・概ね順調 C・・・やや遅れ D・・・遅れ

## 2. 施策における主な事務事業と実績

	事務事業名	実施年度	事業（実績）内容
1	障害者虐待防止対策支援事業 (H28～29：継続)	H24～	「障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律」に基づき、障害者虐待防止センターを障がい支援課内に設置し、虐待に関する通報や届出があった場合、虐待を受けた障がいのあるかたの保護等に関する相談などを行いました。 主な実績として、延べ相談件数は、平成27年度が37件、平成28年度が40件、平成29年度が30件となっています。
2	障害者相談支援事業 (H28～29：継続)	H18～	市が委託している5ヶ所の障害者相談支援事業所では、障がいのあるかたやその家族の方が、地域で自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう障がいのあるかた等の相談に応じ、障害福祉サービスの利用支援や必要な情報提供、助言等を行うとともに、虐待の防止及びその早期発見のための関係機関との連絡調整、その他障がいのあるかた等の権利擁護のために必要な援助を行いました。 主な実績として、延べ相談件数は、平成27年度が19,629件、平成28年度が19,060件、平成29年度が20,903件となっています。
3	障害児等療育支援事業 (H28～29：継続)	H19～	市が委託している3ヶ所の事業所では、障がいのある児童等が、地域で安心して暮らしていけるよう、本人や家族へ専門的な相談・支援（訪問・外来）を行い地域生活の充実を図るため、療育指導、在宅支援外来療育相談、障がいのある児童の通う保育所等の職員の療育技術の指導を行いました。 主な実績として、延べ相談件数は、平成27年度が405件、平成28年度が372件、平成29年度が370件となっています。
4	居宅サービス事業 (H28～29：継続)	H18～	市が指定している事業所では、障がいのあるかた等に対して、住み慣れた地域で安心して自立した暮らしができるよう、自宅において、入浴、排せつ、食事の介助等の居宅介護サービスを提供しました。 このほか、重度訪問介護、行動援護、同行援護等のサービスを提供しました。 主な実績として、居宅介護の延べ利用時間数は、平成27年度が162,114時間、平成28年度が162,536時間となっています。

## 3. 施策の総合評価と今後の課題

### 【総合評価】

- ・「障がい者福祉に関する相談者数」の指標値は、新規手帳の交付時に各種サービス内容や相談支援事業所を周知しているほか、相談支援事業所と連携を図りながら、障がいのあるかたの多様なニーズに対応した福祉サービスの提供に努めていることから増加傾向であり、順調に推移しています。
- ・「障がい者福祉に関する満足度」の指標値は、ほぼ横ばいではあるものの、概ね順調に推移しております。

### 【今後の課題】

- ・本市の障がい者手帳交付者数が年々増加傾向となっていることから、障がいのあるかたが、必要なサービスを安心して受けることができる環境づくりや、住み慣れた地域で安心して自立した暮らしができる環境づくりを進める必要があります。

## 4. 今後踏まえるべき環境変化

- ・「青森市障がいのある人もない人も共に生きる社会づくり条例」（平成29年度～）

1. 施策の基本情報

施策番号	2 - 3 - 2		施策名	障がい者の自立した生活の確保			
施策の現状と課題	障がい者が他の人と等しく、自らの決定・選択に基づき、社会のあらゆる分野の活動に参加しやすい環境づくりと就労の促進に向け、取り組む必要があります。						
施策の概要	障がい者が、持てる能力を最大限活かし、生きがいを持って積極的に社会参加できる環境づくりや、就労の促進を図ります。 《社会参加の促進》 《就労の促進》						
目標とする指標		基準値	実績値				傾向
		H27	H28	H29	H30	H31	H32
① 民間企業における障がい者の雇用率 <small>（青森公共職業安定所管内の常用従業員規模50人以上の民間企業で雇用している障がい者の割合）</small>	目標値	1.9	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
	指標値	1.9	2.0	2.0	**	**	**
	達成率	/	97.5%	101.0%	**	**	**
	進捗状況	平成29年度において目標値に達成しています。					
達成度※ （単位：％） （指標の方向：＋）		A					
② 障がい者の社会参加と自立に関する満足度 <small>（障がいのある方が社会参加等を通じて、生きがいを持って生活できる環境が整っていると思う市民の割合）</small>	目標値	4.4	4.6	4.7	4.9	5.0	5.2
	指標値	4.4	4.5	-	**	**	**
	達成率	/	97.8%	-	**	**	**
	進捗状況	平成28年度においては、概ね目標値の値となっています。 なお、基礎データとなる調査の内容が平成29年度から変更となったため、指標値はなしとなっています。					
達成度※ （単位：％） （指標の方向：＋）		B					
③	目標値						
	指標値						
	達成率	/					
	進捗状況						
達成度※ （単位：） （指標の方向：）							
④	目標値						
	指標値						
	達成率	/					
	進捗状況						
達成度※ （単位：） （指標の方向：）							
市民意識調査	満足度調査				ニーズ度調査		
	項目内容	障がいのある方が就労や社会参加を通じて、生きがいを持って生活できる環境が整っている				H28	第 36 / 75 位
	区分	満足・やや満足	普通	不満・やや不満	わからない・無回答		
	H28	4.5%	25.8%	22.3%	47.4%		

※ 「目標とする指標」における達成度  
A・・・順調 B・・・概ね順調 C・・・やや遅れ D・・・遅れ

## 2. 施策における主な事務事業と実績

	事務事業名	実施年度	事業（実績）内容
1	障がい者バス料金無料化対策事業 (H28～29：継続)	S47～	障がいのあるかたの生活圏の拡大、社会参加意欲の向上、地域における自立した生活の促進を図るため、障がい者手帳を持っている方に、バスを無料で利用できる「福祉乗車証」を交付しています。 主な実績として、福祉乗車証所持者数は、平成27年度が7,820人、平成28年度が7,760人、平成29年度が7,750人となっています。
2	外出介護サービス事業 (H28～29：継続)	H18～	市が指定している事業所では、障がいのあるかた等に対して、社会生活上、必要不可欠な外出時の付添のヘルパーを派遣しています。 主な実績として、外出介護サービスの延べ利用者数は、平成27年度が1,358名、平成28年度が1,390名、平成29年度が1,368名となっています。
3	手話通訳者派遣事業 (H28～29：継続)	H5～	聴覚障害や音声・言語機能障害のあるかた等に対して、意思の伝達の手段を確保するため、各種手続きや社会参加の場へ手話通訳者を派遣しています。 主な実績として、手話通訳者の延べ派遣件数は、平成27年度が1,196件、平成28年度が1,352件、平成29年度が1,547件となっています。
4	就労移行支援・就労継続支援・就労定着事業 (H28～29：継続)	H18～	市が指定している事業所では、就労を希望する障がいのあるかたや通常の事業所で働くことが困難な障がいのあるかた等に対して、生産活動やその他の活動の機会の提供や、知識や能力の向上のための訓練を行っています。また一般就労へ移行したかたに対して、就労の継続を図るために必要な連絡調整や助言等を行っています。 主な実績として、就労移行支援サービスを利用した後に一般就労した人数は、平成27年度が9人、平成28年度が19人となっています。

## 3. 施策の総合評価と今後の課題

<p><b>【総合評価】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「民間企業における障がい者の雇用率」の指標値は、障がいのあるかたへの就労系障害福祉サービスの提供や、障がいのあるかたのインターンシップ（短期職場実習）等実施企業への助成金交付などの就労支援に努めた結果、順調に推移しています。</li> <li>・「障がい者の社会参加と自立に関する満足度」は、概ね順調に推移しています。</li> </ul> <p><b>【今後の課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「障害者の雇用の促進等に関する法律」に基づき、民間企業の法定雇用率が平成30年4月から2.2%に引き上げられ、平成33年4月までには2.3%に引き上げられることから、障がいのあるかたの雇用率を上げていく必要があります。</li> <li>・障がいのあるかたの社会参加や就労の促進を図るため、就労移行支援・就労継続支援などに取り組む必要があります。</li> </ul>
--

## 4. 今後踏まえるべき環境変化

<ul style="list-style-type: none"> <li>・「障害者の雇用の促進等に関する法律」における民間企業の法定雇用率の引き上げ（平成30年） (H30.4から2.2%、H33.4までに2.3%)</li> <li>・「青森市障がいのある人もない人も共に生きる社会づくり条例」（平成29年度～）</li> </ul>
---





## 【行政分野】

### 高齢者福祉

【後期基本計画における施策数】 2

2-2-1 地域包括ケア体制の充実

2-2-2 高齢者の生きがい・元気づくりの充実

1. 施策の基本情報

施策番号	2 - 2 - 1	施策名	地域包括ケア体制の充実					
施策の現状と課題	高齢者の尊厳を保持し、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう医療・介護、介護予防、住まい及び日常生活の支援が包括的に確保される地域包括ケア体制の充実を図る必要があります。							
施策の概要	高齢者が、住み慣れた地域で安心して自立した暮らしができるとともに、必要な福祉サービスを安心して受けることができる環境づくりを進めます。 《多様な主体による生活支援の充実》《地域包括ケア体制の構築》《高齢者の尊厳の保持》 《高齢者福祉施設サービスの充実》							
目標とする指標	基準値	実績値					傾向	
	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
① 地域包括ケアのネットワークに加わった関係団体・関係者数 <small>（地域ケア会議を通じて地域包括ケアのネットワークに加わった関係団体及び関係者の延べ人数）</small> <small>（単位：人） （指標の方向：+）</small>	目標値	1,841	2,174	2,194	2,214	2,234	2,254	
	指標値	1,841	1,953	2,071	**	**	**	
	達成率	/	89.8%	94.4%	**	**	**	
	進捗状況	目標値には達していないものの、順調に増加しています。						
達成度※	B							
② 施設入所待機者の割合 <small>（要介護度4または5の要介護認定者のうち、在宅の待機者の割合）</small> <small>（単位：%） （指標の方向：-）</small>	目標値	3.3	3.2	3.1	3.0	2.9	2.9	
	指標値	3.3	2.1	2.1	**	**	**	
	達成率	/	152.4%	147.6%	**	**	**	
	進捗状況	指標値は順調に推移し、目標値に達しています。						
達成度※	A							
③ 高齢者福祉に関する満足度 <small>（高齢者の介護や在宅支援などのサービスが利用しやすいと思う市民の割合）</small> <small>（単位：%） （指標の方向：+）</small>	目標値	12.0	12.6	13.3	13.9	14.6	15.2	
	指標値	12.0	14.5	-	**	**	**	
	達成率	/	115.1%	-	**	**	**	
	進捗状況	指標値は順調に推移し、目標値に達しています。						
達成度※	A							
④	目標値							
	指標値							
	達成率	/						
	進捗状況							
達成度※								
市民意識調査	満足度調査					ニーズ度調査		
	項目内容	高齢者の介護や在宅支援などのサービスが利用しやすい					H28	第 20 / 75 位
	区分	満足・やや満足	普通	不満・やや不満	わからない・無回答			
	年度							
H28	14.5%	34.9%	19.7%	30.9%				

※ 「目標とする指標」における達成度  
A・・・順調 B・・・概ね順調 C・・・やや遅れ D・・・遅れ

## 2. 施策における主な事務事業と実績

	事務事業名	実施年度	事業（実績）内容
1	生活支援体制整備事業 (H28：拡充、H29：継続)	H27～	地域において支援が必要な方を支える体制づくりを進めるため、地域支え合い推進員（生活支援コーディネーター）を平成28年度から市社会福祉協議会へ順次6人配置し、地区社会福祉協議会が行う支え合い活動の充実に向け、平成29年度は38地区に延164回訪問し地域活動の現状把握に努めています。 また、地域の支援体制の充実・強化のため、地域支え合い活動研究会を開催し、町（内）会、民生委員、老人クラブ、社会福祉法人等、平成28年度は19団体、平成29年度は18団体の地域団体と意見交換を行い、情報共有を図っています。
2	包括的・継続的ケアマネジメント支援事業 (H28～H29：継続)	H18～	健康、身体機能、認知機能、居住環境などにおいて多様な課題を抱える高齢者が地域で暮らし続けることができるようにするため、地域の介護支援専門員等を支援する地域ケア会議を開催し、医療機関、リハビリ専門職等の職能団体、介護サービス事業所、町（内）会、民生委員等、医療・福祉の関係団体及び関係者との連携体制の構築に努めています。 主な実績として、地域ケア会議出席者数は、平成28年度は1,953人、平成29年度は2,071人となっています。
3	認知症高齢者対策事業 (H28～H29：継続)	H21～	高齢者数の増加に伴い認知症高齢者が増えている状況にある中、平成22年度からは、認知症高齢者を正しく理解・支援する認知症サポーター養成講座を、平成26年度からは、iPad版機能評価アプリを活用したもの忘れ相談会等を開催し、認知症の知識の普及や早期診断・早期対応に取り組んでいます。 主な実績として、認知症サポーター養成講座の受講者数は、平成28年度は2,219人、平成29年度は2,325人となっています。
4	老人福祉施設整備費補助金交付事務（補助金） (H28：拡充、H29：継続)	**～	高齢化が進行する中、高齢者が安心してサービスを受けることができるよう、老人福祉施設の老朽化や入所待機者の増等により整備が必要な施設の整備費用を補助し、安全で良好な施設環境を確保しています。 主な実績としては、市整備費補助金交付施設数が平成28年度は7施設（スプリンクラー設備）、平成29年度は43施設（スプリンクラー設備：5施設、防犯カメラ等：34施設、地域密着型介護老人福祉施設：1施設、小規模多機能型居宅介護事業所：3施設）となっています。

## 3. 施策の総合評価と今後の課題

<p><b>【総合評価】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「地域包括ケアのネットワークに加わった関係団体・関係者数」の指標値は、医療・福祉の関係団体及び関係者との連携のもと地域ケア会議を開催し、地域包括支援センターを中心としたネットワーク構築に取り組んだことで、目標値には達してはいないものの、順調に増加しております。</li> <li>・「施設入所待機者の割合」の指標値は、施設機能の充実や施設整備などに対する支援、指定基準に基づいた適正な介護サービス事業所の指定などの取組により、減少傾向となっており、順調に推移しております。</li> <li>・「高齢者福祉に対する満足度」の指標値は上昇傾向となっており、順調に推移しております。</li> </ul> <p><b>【今後の課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の一人暮らしや高齢者のみの世帯が増加している中、高齢者が尊厳を保持し、住み慣れた地域において安心して暮らすための取り組みが必要となっています。</li> <li>・高齢者、障がい者、子ども、生活困窮者など地域において支援が必要な方を支えるため、地域の連携協力体制を強化していく必要があります。</li> <li>・市内全11箇所の地域包括支援センターを中心とした、「医療、介護、介護予防、住まい及び日常生活の支援」を包括的に確保する「地域包括ケアシステム」を加速する必要があります。</li> </ul>
---

## 4. 今後踏まえるべき環境変化

--

1. 施策の基本情報

施策番号	2 - 2 - 2		施策名	高齢者の生きがい・元気づくりの充実				
施策の現状と課題	<p>活力ある超高齢社会の構築に向け、高齢者が社会から孤立することなく、これまで培った知識、経験などを活かしながら、多様な社会参加により、社会の構成員の一人として持てる力を十分に発揮し、元気にいきいきと生きがいを持った生活を送ることができる環境づくりを進める必要があります。</p>							
施策の概要	<p>高齢者が、健康で生きがいを持って積極的に社会参加できる環境づくりを進めます。 《就業機会の創出》《社会活動への参加促進》《介護予防の推進》</p>							
目標とする指標		基準値	実績値					傾向
		H27	H28	H29	H30	H31	H32	
① 高齢者のボランティア数 <small>（青森市ボランティアセンターにボランティア登録を行った65歳以上の高齢者）</small>  （単位：人） （指標の方向：+）	目標値	-	566	616	666	717	767	
	指標値	-	-	364 (半年分)	**	**	**	
	達成率	/	-	59.1%	**	**	**	
	進捗状況	青森市ボランティア制度は平成29年10月から開始したため、指標値は半年分となっておりますが、目標値に向け順調に推移しています。						
達成度※	A							
② 高齢者の社会参加と自立に関する満足度 <small>（高齢者が就労や社会参加を通じ、健康で生きがいを持って生活できると思う市民の割合）</small>  （単位：%） （指標の方向：+）	目標値	7.5	7.7	7.9	8.2	8.4	8.6	
	指標値	7.5	8.0	-	**	**	**	
	達成率	/	103.9%	-	**	**	**	
	進捗状況	指標値は順調に推移し、目標値に達しています。						
達成度※	A							
③  （単位：） （指標の方向：）	目標値							
	指標値							
	達成率	/						
	進捗状況							
達成度※								
④  （単位：） （指標の方向：）	目標値							
	指標値							
	達成率	/						
	進捗状況							
達成度※								
市民意識調査	満足度調査						ニーズ度調査	
	項目内容	高齢者が就労や社会参加を通じ、健康で生きがいを持って生活できる					H28	第 13 / 75 位
	区分	満足・やや満足	普通	不満・やや不満	わからない・無回答			
	年度	H28	8.0%	35.6%	26.3%	30.1%		

※ 「目標とする指標」における達成度  
A・・・順調 B・・・概ね順調 C・・・やや遅れ D・・・遅れ

## 2. 施策における主な事務事業と実績

	事務事業名	実施年度	事業（実績）内容
1	シルバー人材センター運営 助成事業 (H28～H29:継続)	H18～	高齢者の能力を活かした活力ある地域社会をつくるため、高齢者の就業機会を確保する事業を実施している公益財団法人青森市シルバー人材センターへ補助金を交付し、高齢者の生きがいの充実と社会参加の促進を図っています。 主な実績として、シルバー人材センターに登録している高齢者の就業者数は、平成28年度は915人、平成29年度は961人となっています。
2	高齢者福祉乗車証交付事業 (H28～H29:継続)	S45～	高齢者の生活行動範囲の拡大と社会参加の促進を図るため、市営バス等を低額で利用できる高齢者福祉乗車証を交付し、高齢者の外出手段を確保しています。 主な実績として、高齢者福祉乗車証保持者数が平成28年度は35,764人、平成29年度は36,708人となっています。
3	一般介護予防事業 (H29:新規)	H29～	高齢者が他の世代とともに社会の一員として生きがいを持って生活を送れるよう、ボランティア活動をした場合にポイントを付与するボランティアポイント制度を平成29年10月に開始し、高齢者の社会参加を通じた介護予防に取り組んでいます。 主な実績として、地域福祉サポーターとしてボランティア登録した65歳以上の高齢者は、平成29年度は平成29年10月から平成30年3月までの6ヶ月間で364人となっています。
4	こころの縁側づくり事業 (H28:拡充、H29:継続)	H21～	市社会福祉協議会と連携し、地区社会福祉協議会ごとのつどいの場づくりを支援し、高齢者が地域のつながりを維持しながら、身近な場所で生きがいづくりと介護予防に取り組める環境づくりを進めました。 主な実績として、地区社会福祉協議会が開催しているつどいの場は、平成28年度は25地区45箇所、平成29年度は32地区59箇所となっています。

## 3. 施策の総合評価と今後の課題

### 【総合評価】

- ・「高齢者のボランティア数」の指標値は、平成29年10月から青森市ボランティア制度を開始したため、半年分となっていますが、概ね順調に推移しております。
- ・「高齢者の社会参加と自立に関する満足度」の指標値は上昇傾向であり、順調に推移しています。

### 【今後の課題】

- ・高齢者の一人暮らしや高齢者のみの世帯が増加しており、高齢者が地域の中で孤立することなく生きがいを持って社会参加できる環境づくりを進める必要があります。

## 4. 今後踏まえるべき環境変化



## 【行政分野】

### 男女共同参画

【後期基本計画における施策数】 1

2-6-1 男女共同参画社会の形成

1. 施策の基本情報

施策番号	2 - 6 - 1	施策名	男女共同参画社会の形成					
施策の現状と課題	社会活動や個人の生き方が多様化する中で、性別による固定的な役割分担意識の解消に向け、男女共同参画意識のさらなる浸透を図るとともに、女性の一層の社会参画や活躍の促進などにより、性別によらないあらゆる活動への参加拡大につながる環境づくりに取り組む必要があります。							
施策の概要	男女共同参画社会の形成を促進します。 《総合的かつ計画的な推進》《男女共同参画意識の醸成》《男女共同参画に向けた支援》							
目標とする指標		基準値	実績値					傾向
		H27	H28	H29	H30	H31	H32	
① 男女共同参画意識啓発事業への参加者数  (男女共同参画に関する講座の受講者数)  (単位：人) (指標の方向：+)	目標値	8,065	8,555	8,811	9,075	9,300	9,300	
	指標値	8,065	8,632	9,560	**	**	**	
	達成率	/	100.9%	108.5%	**	**	**	
	進捗状況	基準値より増加し目標を上回っています。						
達成度*	A							
② 男女共同参画に対する満足度  (男女共同の参画意識が職場や家庭において浸透していると思う市民の割合)  (単位：%) (指標の方向：+)	目標値	5.7	7.8	9.9	12.0	14.1	16.0	
	指標値	5.7	7.3	-	**	**	**	
	達成率	/	93.6%	-	**	**	**	
	進捗状況	基準値より増加し概ね目標どおりとなっています。また、基礎データとなる調査の内容が平成29年度から変更となったため平成29年度は実績なしとなっています。						
達成度*	B							
③	目標値							
	指標値							
	達成率	/						
	進捗状況							
達成度*								
④	目標値							
	指標値							
	達成率	/						
	進捗状況							
達成度*								
市民意識調査	満足度調査				ニーズ度調査			H28 第56 / 75位
	項目内容	男女共同の環境・意識が職場や家庭において浸透している					H28	
	区分	満足・やや満足	普通	不満・やや不満	わからない・無回答			
	年度	H28	7.3%	36.5%	25.8%	30.4%		

※ 「目標とする指標」における達成度  
A・・・順調 B・・・概ね順調 C・・・やや遅れ D・・・遅れ



## 2. 施策における主な事務事業と実績

	事務事業名	実施年度	事業（実績）内容
1	男女共同参画社会形成促進事業 (H28、H29:継続)	**~	男女共同参画社会の形成を促進するため、平成28年2月に策定した「青森市男女共同参画プラン2020」に基づき、男女共同参画に関する情報紙の作成、子ども向け男女共同参画啓発小冊子の作成、市民・事業者向けセミナーの開催など、幅広い層に対する啓発活動や情報発信を行い、男女共同参画に関する理解を促進しています。 主な実績として、情報紙の配布箇所数（年2回発行）が平成28年度、平成29年度ともに約700箇所、子ども向け男女共同参画啓発小冊子の配布部数（配布対象者 小学6年生、中学3年生）が平成28年度、平成29年度ともに約5,300部となっています。
2	男女共同参画プラザパートナーシップ促進事業 (H28、H29:継続)	H12~	男女共同参画社会の形成を促進するため、男女共同参画推進の拠点施設である男女共同参画プラザにおいて、意識啓発講座、女性の悩み相談、託児サービス、情報収集・発信などを行い、男女共同参画に関する理解を促進しています。 主な活動実績として、講座参加者数が平成28年度は6,741人、平成29年度は7,300人となっています。
3	働く女性の家活動事業 (H28、H29:継続)	S48~	男女共同参画社会の形成を促進するため、男女共同参画推進の拠点施設である働く女性の家において、意識啓発講座や情報収集・発信などを行い、男女共同参画に関する理解を促進しています。 主な活動実績として、講座参加者数が平成28年度は1,891人、平成29年度は2,260人となっています。
4	男女共同参画プラザ運営事業 (H28、H29:継続)	H12~	男女共同参画推進の拠点施設である男女共同参画プラザにおいて、活動スペースの提供などにより、本市における男女共同参画社会の実現に向けた市民活動等の支援を行っています。 主な活動実績として、施設利用者数が平成28年度は62,959人、平成29年度は60,315人となっています。

## 3. 施策の総合評価と今後の課題

<p>【総合評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「男女共同参画意識啓発事業への参加者数」の指標値は、男女共同参画推進の拠点施設である男女共同参画プラザ及び働く女性の家において、男女共同参画に関する様々な講座等を行い、着実に意識啓発を進めていることから、増加傾向であり、順調に推移しております。</li> <li>・「男女共同参画に対する満足度」の指標値は、概ね順調に推移しています。</li> </ul> <p>【今後の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き男女共同参画意識の醸成を進めていくとともに、職場等における男女共同参画への理解を促進し、女性の一層の社会参画を図っていく必要があります。</li> </ul>
---

## 4. 今後踏まえるべき環境変化

<ul style="list-style-type: none"> <li>・「青森市男女共同参画推進条例」の施行（平成30年4月1日）</li> </ul>
--



## 【行政分野】

### その他

【後期基本計画における施策数】 7

- 2-5-1 地域福祉の充実
- 2-5-2 生活困窮者の自立促進
- 2-6-2 互いを尊重し支え合う社会の形成
- 2-6-3 平和意識の高揚
- 5-4-1 交通安全活動の推進
- 5-4-2 防犯対策の推進
- 5-4-3 消費者自立支援対策の推進

1. 施策の基本情報

施策番号	2 - 5 - 1	施策名	地域福祉の充実				
施策の現状と課題	高齢者や障がい者、子どもや子育てする人、生活困窮者など誰もが住み慣れた地域において安全に安心して暮らすことができるよう、関係団体などと連携を図りながら、地域で共に支え合う意識の醸成や地域福祉の担い手の育成・確保、地域の中で支援やサービスが受けられる体制の充実を図る必要があります。						
施策の概要	地域福祉の担い手の育成・確保を進めるとともに、地域福祉の活動拠点の充実や多様な主体との連携により、地域で共に支え合い助け合う体制の充実を図ります。 《地域福祉の担い手の育成・確保》《地域福祉活動の充実》						
目標とする指標		基準値	実績値				傾向
		H27	H28	H29	H30	H31	H32
① 人口1万人当りの福祉ボランティア登録者の割合 <small>（市の人口1万人当りの青森市社会福祉協議会への社会福祉ボランティア登録者の割合）</small> 達成度※ （単位：－） （指標の方向：＋）	目標値	283.4	361.0	390.5	426.3	462.9	500.0
	指標値	283.4	270.4	347.9	**	**	**
	達成率	/	74.9%	89.1%	**	**	**
	進捗状況	平成28年度は目標値を大きく下回ったものの、平成29年度は目標値に近づき、目標値に対する達成率が上昇しました。					
② 地域福祉に対する満足度 <small>（住み慣れた地域で安心して暮らすことができると思う市民の割合）</small> 達成度※ （単位：％） （指標の方向：＋）	目標値	9.2	10.0	10.9	11.7	12.6	13.4
	指標値	9.2	12.1	-	**	**	**
	達成率	/	121.0%	-	**	**	**
	進捗状況	平成28年度は基準値より大きく増加し、目標値以上の指標値となっています。また、基礎データとなる調査の内容が平成29年度から変更となったため平成29年度は実績なしとなっています。					
③  達成度※ （単位：） （指標の方向：）	目標値						
	指標値						
	達成率	/					
	進捗状況						
④  達成度※ （単位：） （指標の方向：）	目標値						
	指標値						
	達成率	/					
	進捗状況						
市民意識調査	満足度調査				ニーズ度調査		
	項目内容	地域において、住民・民生委員・児童委員・地域団体・社会福祉協議会・福祉事業者・市などが連携・協力し、支え合い助け合いながら福祉活動が展開されるなど、住み慣れた地域で安心して暮らすことができる				H28	第 34 / 75 位
	区分	満足・やや満足	普通	不満・やや不満	わからない・無回答		
	年度						
H28	12.1%	43.2%	21.0%	23.6%			

※ 「目標とする指標」における達成度  
A・・・順調 B・・・概ね順調 C・・・やや遅れ D・・・遅れ

## 2. 施策における主な事務事業と実績

	事務事業名	実施年度	事業（実績）内容
1	青森市地域福祉計画推進事業 (H28：新規) (H29：拡充)	H28～	平成28年3月に策定した青森市地域福祉計画に基づき、本事業に取り組むことで、本市の地域福祉の推進が図られています。 主な実績として、平成28年度は、地区の福祉やまちづくりに関する様々な情報を集約した「地区カルテ」を整備したほか、地域内の人材や資源をつなぎ、支え合い体制の構築を推進する「地域支え合い推進員」を配置しました。平成29年度は、ボランティア活動の推進と人材の育成・確保を目的に「ボランティアポイント制度」を実施しました。なお、ボランティア登録者数は9,920人となっています。
2	避難行動要支援者対策事業 (H23～25：継続) (H26：拡充) (H27～29：継続)	H21～	災害が発生し、又は発生するおそれがある場合に、自ら避難することが困難な高齢者や障がい者等（避難行動要支援者）に対する避難誘導等の支援を行うため、避難行動要支援者の情報を避難支援等関係者と共有するなど、地域における避難支援体制の充実に向けた取組の促進を図っています。 主な実績として、平常時から避難支援等関係者へ個人情報を提供することに同意した避難行動要支援者数が平成28年度末時点で7,957人、平成29年度末時点で7,620人となっています。
3	民生委員児童委員活動事業 (H23～29：継続)	S23～	地域福祉の担い手として重要な役割を果たしている民生委員・児童委員活動が円滑かつ適正に活動できるよう活動経費を負担するとともに、月1回、各地区の民生委員児童委員協議会会長が集まる理事会において行政の情報を提供しているほか、地域住民への相談・支援活動に必要な知識の習得や資質向上のための研修を実施しています。また、民生委員・児童委員の成り手確保のため、平成28年度の一斉改選時（3年に1度）には、年齢要件を75歳未満から78歳未満に上げました。 主な実績として、延活動日数が平成28年度は89,230日、平成29年度は89,834日となっています。
4			

## 3. 施策の総合評価と今後の課題

### 【総合評価】

- ・「人口1万人当りの福祉ボランティア登録者の割合」の指標値は、「ボランティアポイント制度の創設」などにより徐々に目標値に近づいており、概ね順調に推移しています。
- ・「地域福祉に対する満足度」の指標値は、民生委員・児童委員、関係団体の活動に対する支援のほか、高齢者等への除雪や屋根の雪下ろし支援の充実など、地域で支え合うための取組を進めてきたことにより、順調に推移しています。

### 【今後の課題】

- ・町内会や民生委員・児童委員などの地域福祉の担い手が不足している状況であり、高齢者、障がい者、子どもや子育てをする人、生活困窮者など、誰もが住み慣れた地域において安全に安心して暮らすことができるよう、地域福祉の新たな人材を確保・育成していく必要があります。

## 4. 今後踏まえるべき環境変化

--

1. 施策の基本情報

施策番号	2 - 5 - 2		施策名	生活困窮者の自立促進				
施策の現状と課題	生活困窮者支援については、生活保護受給者を含めた生活困窮者の社会的・経済的な自立を促すため、積極的に取り組む必要があります。							
施策の概要	生活困窮者の自立を促進します。 《生活保護の適正実施》《生活困窮者の自立支援》							
目標とする指標		基準値	実績値					傾向
		H27	H28	H29	H30	H31	H32	
① 生活保護廃止件数のうち自立件数  (年間の生活保護廃止件数のうち就労などによる自立件数)  (単位：件) (指標の方向：+)	目標値	172	177	182	187	192	197	
	指標値	172	187	191	**	**	**	
	達成率	/	105.6%	104.9%	**	**	**	
	達成度※	実績値は順調に推移しており、目標値に達しています。						
	進捗状況	A						
② 生活困窮者の就労者数  (生活困窮者に対する就労支援対象者のうち就労した人数)  (単位：人) (指標の方向：+)	目標値	4	11	19	27	35	43	
	指標値	4	13	10	**	**	**	
	達成率	/	118.2%	52.6%	**	**	**	
	達成度※	平成28年度は目標値を上回ったものの、平成29年度は実績値が目標値を下回っていますが、達成率は2ヶ年平均では76.7%となっており、概ね順調に推移しています。						
	進捗状況	B						
③	目標値							
	指標値							
	達成率	/						
	達成度※							
	進捗状況							
④	目標値							
	指標値							
	達成率	/						
	達成度※							
	進捗状況							
市民意識調査	満足度調査						ニーズ度調査	
	項目内容	生活保護等が適正に実施され、被保護者等の自立・就労支援が図られている					H28	第 18 / 75 位
	区分	満足・やや満足	普通	不満・やや不満	わからない・無回答			
	年度							
H28	5.1%	26.9%	26.8%	41.1%				

※ 「目標とする指標」における達成度  
A・・・順調 B・・・概ね順調 C・・・やや遅れ D・・・遅れ

## 2. 施策における主な事務事業と実績

	事務事業名	実施年度	事業（実績）内容
1	生活保護適正実施管理事業 (H元～29：継続)	H元～	生活保護制度の円滑な運用と適正な実施を確保するため、訪問調査、扶養能力調査及び資産調査を行っています。 主な実績として、訪問調査数は平成28年度27,035件、平成29年度26,115件となっています。また、扶養能力調査数は平成28年度4,299件、平成29年度3,878件、資産調査数は平成28年度10,064件、平成29年度8,390件となっています。
2	就労支援事業 (H18～29：継続)	H18～	被保護者の就労による自立を促進するため、就労支援相談員を配置するとともに、公共職業安定所と連携しながら、就労可能な被保護者に対して支援を行っています。 主な実績として、平成28年度は就労支援者数227人のうち、就労者数90人（39.6%）、平成29年度は就労支援者数354人のうち、就労者数128人（36.2%）となっています。
3	生活困窮者自立支援事業 (H27～29：継続)	H27～	「生活困窮者自立支援法」に基づき、生活保護に至る前段階の生活困窮者の自立を促進するため、当該事業については、社会福祉法人青森市社会福祉協議会に委託し、就労相談、家計相談及び離職等により住居を喪失しているかた（そのおそれのあるかた）に対し、給付金を支給するなどの支援を行っています。 主な実績として、新規相談受付件数は平成28年度547件、うち就労・増収者数23人、平成29年度453件、うち就労・増収者数21人となっています。
4			

## 3. 施策の総合評価と今後の課題

### 【総合評価】

- ・「生活保護廃止件数のうち自立件数」の指標値は、訪問調査、扶養能力調査及び資産調査を行ったことにより増加傾向であり、順調に推移しています。
- ・「生活困窮者の就労者数」の指標値は、平成28年度は目標値に達していますが、平成29年度においては、管内の雇用情勢が好調であることから、相談者数が減少（平成28年度547件、平成29年度453件）したことにより目標値を下回ったものの、概ね順調に推移しています。

### 【今後の課題】

- ・本市の生活保護率は、国の保護率や県の保護率を大きく上回っていることから、引き続き生活困窮者の経済的な自立を促すため積極的に取り組んでいく必要があります。

## 4. 今後踏まえるべき環境変化

- ・平成30年10月に行われる生活保護費の基準改正

1. 施策の基本情報

施策番号	2 - 6 - 2	施策名	互いを尊重し支え合う社会の形成					
施策の現状と課題	<p>少子高齢化の進展や価値観の多様化が進む中で、一人ひとりの人権を尊重するとともに、ユニバーサルデザイン化やノーマライゼーションの理念の普及により、誰もが安心して暮らし、活動できるユニバーサル社会の形成に取り組む必要があります。</p>							
施策の概要	<p>性別や年齢、国籍、障がいの有無に関係なく、誰もが社会の一員として互いを尊重し、認め、支え合い、共に生きる社会の形成を推進します。 《ノーマライゼーション・人権擁護の推進》《多文化共生の推進》</p>							
目標とする指標		基準値	実績値					傾向
		H27	H28	H29	H30	H31	H32	
① 青森市DV相談支援センターの周知度  青森市DV相談支援センターについて知っている市民の割合  (単位：％) (指標の方向：＋)	目標値	43.4	43.4	45.1	46.7	48.4	50.0	
	指標値	43.4	43.4	-	**	**	**	
	達成率		100.0%	-	**	**	**	
	進捗状況	平成28年度に実施した市民意識調査の結果を基準値としています。また、基礎データとなる調査の内容が平成29年度から変更となったため平成29年度は実績なしとなっています。						
② ノーマライゼーションに対する満足度  誰もが住み慣れた社会で普通の生活を送ることができる街となっていると思う市民の割合  (単位：％) (指標の方向：＋)	目標値	8.5	8.9	9.2	9.6	9.9	10.2	
	指標値	8.5	10.9	-	**	**	**	
	達成率		122.5%	-	**	**	**	
	進捗状況	基準値より増加し目標を上回っています。また、基礎データとなる調査の内容が平成29年度から変更となったため平成29年度は実績なしとなっています。						
③	目標値							
	指標値							
	達成率							
	進捗状況							
④	目標値							
	指標値							
	達成率							
	進捗状況							
市民意識調査	満足度調査						ニーズ度調査	
	項目内容	誰もが住み慣れた社会で普通の生活を送ることができる街となっている					H28	第 36 / 75 位
	区分	満足・やや満足	普通	不満・やや不満	わからない・無回答			
	年度							
H28	10.9%	46.4%	27.1%	15.6%				

※ 「目標とする指標」における達成度  
A・・・順調 B・・・概ね順調 C・・・やや遅れ D・・・遅れ



## 2. 施策における主な事務事業と実績

	事務事業名	実施年度	事業（実績）内容
1	障害者に対する理解を深めるための啓発事業 (H28、H29:継続)	S57~	障がいのあるかた等の生活や経験を知って、障がいについて正しく理解し、誰にでもあたたかく接する思いやりの心や、共に支え合って生きていく意識を育み、障がいに対する理解を深めるため、小中学生を対象に『福祉読本』を配布するとともに、パネル展示等を行い、広く市民へ障がいのあるかたに対する理解を深めるための啓発をしています。 主な活動実績として、福祉読本（配布対象者 小学2年生・4年生・6年生、中学2年生）の発行部数が平成28年度は10,900冊、平成29年度は9,800冊となっています。
2	特別相談事業（補助金） (H28、H29:継続)	S45~	基本的人権の救済及び人権思想の普及高揚を図るため、本市で実施している人権相談のほか、人権思想の普及・啓発活動等を行っている「青森人権擁護委員協議会青森地区人権擁護推進部会」（本市の人権擁護委員で構成）に対して支援を行っています。 主な活動実績として、人権相談件数が平成28年度、平成29年度ともに8件、人権教室の開催回数が平成28年度は12回、平成29年度は13回となっています。
3	DV相談支援センター運営事業 (H28、H29:継続)	H27~	配偶者等からの暴力（DV）の防止と被害者の保護のため、青森市配偶者暴力相談支援センターにおいて、支援を必要とするDV被害相談者のため継続的な相談、複数の手続きの一元化など、相談者の立場に立ったワンストップ支援を行いました。また、センターの周知を図るため、チラシやDVカードを庁内の関係部署や関係機関などに配布しています。 主な活動実績として、DVの相談件数（述べ件数）が平成28年度は322件、平成29年度は384件となっています。
4	成年後見制度利用支援事業 (H28、H29:継続)	H15~	高齢者数の増加に伴い認知症高齢者等が増えている状況にある中、認知症等の高齢者を対象に、判断能力が不十分で成年後見制度が必要であるものの、身寄りがなく申立てができる親族がいない場合には、市長が成年後見等開始の審判について申立てをするとともに、経済的に困窮されるかたに対しては申立てに要する経費及び後見人の報酬を助成しています。 主な実績として、市長が申立てた件数が平成28年度は28件、平成29年度は53件、申立に要する費用及び後見人の報酬を助成した件数が平成28年度、平成29年度ともに28件となっています。

## 3. 施策の総合評価と今後の課題

### 【総合評価】

・子ども・高齢者・障がいのあるかたに対する虐待、インターネット上のいじめ、配偶者等への暴力などについて、関係機関と連携し、人権意識の普及啓発を図るとともに、相談体制の充実を図り、あらゆる暴力を許さない環境づくりに取り組むほか、多文化共生理念の定着にも取り組んでおり、「ノーマライゼーションに対する満足度」の指標値は順調に推移しています。

### 【今後の課題】

・引き続き、誰もが住み慣れた社会で普通の生活を送ることができる環境づくりを進めていく必要があります。

## 4. 今後踏まえるべき環境変化

- ・「青森市障がいのある人もない人も共に生きる社会づくり条例」（平成29年4月1日）
- ・「青森市男女共同参画推進条例」の施行（平成30年4月1日）

1. 施策の基本情報

施策番号	2 - 6 - 3		施策名	平和意識の高揚				
施策の現状と課題	戦争を知る世代が減少する中で、平和意識の醸成を図るとともに、青森空襲があったという事実を風化させないため、次世代に平和の大切さを継承していく必要があります。							
施策の概要	平和の大切さを次世代に引き継いでいくため、平和意識の高揚を図ります。 《平和都市理念の普及啓発》							
目標とする指標		基準値	実績値					傾向
		H27	H28	H29	H30	H31	H32	
① 平和関連事業に対する満足度  戦争の悲惨さと平和の尊さへの理解が深まり、平和意識の高揚が図られていると思う市民の割合  (単位：%) (指標の方向：+)	目標値	15.2	16.0	17.0	18.0	19.0	20.0	
	指標値	15.2	12.1	-	**	**	**	
	達成率	/	75.6%	-	**	**	**	
	進捗状況	平成28年度は基準値より減少し、目標値に達しない状況となっています。						
達成度※	C							
② 平和に関する指導に地域教材を活用している小・中学校の割合  青森空襲などの地域教材を授業で取り上げている市立小・中学校の割合  (単位：%) (指標の方向：+)	目標値	87.7	90.6	92.2	95.3	96.9	100.0	
	指標値	87.7	90.6	-	**	**	**	
	達成率	/	100.0%	-	**	**	**	
	進捗状況	青森空襲を授業で取り上げる学校が増加し、目標値を達成できています。						
達成度※	A							
③  (単位：) (指標の方向：)	目標値							
	指標値							
	達成率	/						
	進捗状況							
達成度※								
④  (単位：) (指標の方向：)	目標値							
	指標値							
	達成率	/						
	進捗状況							
達成度※								
市民意識調査	満足度調査						ニーズ度調査	
	項目内容	平和関連事業により、戦争の悲惨さと平和の尊さへの理解が深まり、市民の平和意識の高揚が図られている					H28	第 63 / 75 位
	区分	満足・やや満足	普通	不満・やや不満	わからない・無回答			
	年度	H28	12.1%	47.5%	13.6%	26.7%		

※ 「目標とする指標」における達成度  
A・・・順調 B・・・概ね順調 C・・・やや遅れ D・・・遅れ

## 2. 施策における主な事務事業と実績

	事務事業名	実施年度	事業（実績）内容
1	平和都市関連事業	H17～	<p>青森市平和の日等検討委員会からの答申を踏まえ、市民の平和意識を喚起したいという思いから、平成28年度から7月28日（青森市平和の日）に、戦没者慰霊祭（平成7年から毎年開催）を拡充した「平和祈念式典」を開催したところ、平成28・29年度ともに、350名の方が参加しました。</p> <p>また、平成29年度には今後の平和事業のあり方について検討し、平成30年度から新たに「平和・防災学習事業」を実施することとし、また、平和首長会議に再加盟しました（平成29年10月1日付け加盟）。</p>
2			
3			
4			

## 3. 施策の総合評価と今後の課題

### 【総合評価】

- ・「平和関連事業に対する満足度」の指標値は、平和祈念式典の開催や広報あおもり・市ホームページでの平和に関する情報提供などを行っているものの、目標値に達しない状況となっています。
- ・「平和に関する指導に地域教材を活用している小・中学校の割合」の指標値は、青森空襲を授業で取り上げる学校が増加しており、順調に推移しています。

### 【今後の課題】

- ・戦争体験者が減少し、戦争の記憶や記録が風化していく中で、戦争の悲惨さと平和の尊さを市民、特に若い世代に伝えていく必要があります。

## 4. 今後踏まえるべき環境変化

# 1. 施策の基本情報

施策番号	5 - 4 - 1	施策名	交通安全活動の推進					
施策の現状と課題	交通安全のため、幼児から成人に至るまで、ライフステージに応じた交通安全意識の啓発を図るとともに、近年、特に顕著となっている高齢者の事故防止対策に取り組む必要があります。世代を問わず利用されている自転車利用者の交通ルールの遵守、マナーの向上を図る必要があります。							
施策の概要	交通安全に対する意識を啓発し、地域が一体となった交通安全活動を促進するとともに、交通安全施設などの充実を図ります。 《交通安全意識の啓発》《交通安全活動の促進》《交通安全施設などの充実》							
目標とする指標		基準値	実績値					傾向
		H27	H28	H29	H30	H31	H32	
① 交通安全運動参加者数  (交通安全運動に参加した市民の人数)  (単位：人) (指標の方向：+)	目標値	16,296	16,397	16,498	16,599	16,700	16,801	
	指標値	16,296	16,501	15,526	**	**	**	
	達成率	/	100.6%	94.1%	**	**	**	
	達成度※	参加者数は、年度による増減はありますが、概ね目標の値となっています。						
	進捗状況	B						
② 交通事故による死傷者数  (交通事故による年間の死傷者数)  (単位：人) (指標の方向：-)	目標値	1,005	810	810	810	810	810	
	指標値	1,005	1,015	952	**	**	**	
	達成率	/	79.8%	85.1%	**	**	**	
	達成度※	現状において、実績値は目標値に達していませんが、減少傾向にあり、目標達成に向け順調に推移しています。						
	進捗状況	B						
③	目標値							
	指標値							
	達成率	/						
	達成度※							
	進捗状況							
④	目標値							
	指標値							
	達成率	/						
	達成度※							
	進捗状況							
市民意識調査	満足度調査					ニーズ度調査		H28 第23 / 75位
	項目内容	交通ルールが守られ、誰もが安全かつ安心して道路を利用できる環境が整っている					H28	
	区分	満足・やや満足	普通	不満・やや不満	わからない・無回答			
	年度	H28	14.2%	47.2%	30.0%	8.6%		

※ 「目標とする指標」における達成度  
A・・・順調 B・・・概ね順調 C・・・やや遅れ D・・・遅れ

## 2. 施策における主な事務事業と実績

	事務事業名	実施年度	事業（実績）内容
1	市民交通安全行動推進事業 (H28～継続)	H11～	交通事故を防止し、安全・安心な市民生活を確保するため、「市民交通安全行動の日」（6月25日）に地域団体や事業者、関係機関等が参加し、市民の交通安全意識の高揚を図るための啓発活動を行いました。 主な実績として、関係団体等による活動実施回数は、平成28年度5回、平成29年度6回となっています。
2	交通安全啓発事業 (H28～継続)	S41～	交通事故の防止、交通事故による犠牲者を抑止するため、市民一人ひとりが正しい交通ルールの遵守と交通マナーの実践を行うよう、「交通安全のぼり旗ロード作戦」を実施するなど市民を対象とした交通安全啓発活動を行うとともに、高齢者等に対する反射材の配布を行い、交通事故防止と交通安全意識の高揚を図りました。 主な実績として、活動実施回数は、平成28年度73回、平成29年度75回となっています。
3	交通安全教育推進事業 (H28～継続)	H4～	子どもたちや、交通事故死者数のうち約半数を占める高齢者に対し、交通ルールの遵守や交通事故から自分自身を守るための教育として、交通安全教室を実施しました。 主な実績として、交通安全教室開催数は、平成28年度130回、平成29年度128回となっています。
4	新入学児童交通安全対策事業 (H28～継続)	S37～	新入学児童に対し、交通事故に遭わないよう、ドライバーの視認性を高める交通安全用品を配付しました。 主な実績として、交通安全用品の配付人数は、平成28年度2,152人、平成29年度2,197人となっています。

## 3. 施策の総合評価と今後の課題

【総合評価】  
「交通安全意識の啓発」「交通安全活動の促進」については、関係団体との連携による様々な機会を捉えた継続的な取組により、概ね順調であると判断しています。

【今後の課題】  
事故発生件数は減少傾向ですが、高齢運転者による事故の割合は増加していることから、対策が必要です。  
(市内交通事故発生件数における高齢運転者の割合 H24…15.2%、H29…19.9%)

## 4. 今後踏まえるべき環境変化

青森市の高齢化率の推計 H27…28.5%、H57…47.7%

1. 施策の基本情報

施策番号	5 - 4 - 2	施策名	防犯対策の推進					
施策の現状と課題	犯罪が身近で発生し、巧妙化している中で、犯罪に対する社会的な不安感が高まっており、地域の安全・安心を守るためには、地域や事業者、関係団体、行政が連携し、防犯対策を進める必要があります。							
施策の概要	市域全体及び地域における防犯対策の充実を図ります。 《防犯体制の充実》《地域における防犯対策の向上》							
目標とする指標		基準値	実績値					傾向
		H27	H28	H29	H30	H31	H32	
① 犯罪発生件数  (単位：件) (指標の方向：-)	目標値	1,471	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400	
	指標値	1,471	1,364	1,163	**	**	**	
	達成率	/	102.6%	120.4%	**	**	**	
	達成度※	実績値は減少傾向にあり、既に目標を達成しております。						
	進捗状況	A						
②	目標値							
	指標値							
	達成率	/						
	達成度※							
	進捗状況							
③	目標値							
	指標値							
	達成率	/						
	達成度※							
	進捗状況							
④	目標値							
	指標値							
	達成率	/						
	達成度※							
	進捗状況							
市民意識調査	満足度調査					ニーズ度調査		
	項目内容	地域の防犯意識が高まり、関係機関や団体と連携しながら防犯活動が展開されている					H28	第 48 / 75 位
	区分	満足・やや満足	普通	不満・やや不満	わからない・無回答			
	年度							
H28	11.6%	50.0%	16.3%	22.1%				

※ 「目標とする指標」における達成度  
 A・・・順調 B・・・概ね順調 C・・・やや遅れ D・・・遅れ

## 2. 施策における主な事務事業と実績

	事務事業名	実施年度	事業（実績）内容
1	防犯推進事業（補助金） （H28～29：継続）	S42～	警察・行政・市民が一体となった防犯活動を実施していくため、広報活動、警戒活動等の地域安全活動を実施する防犯団体へ補助金等を交付しました。 【補助金等交付団体】（H28、H29） ・青森平内地区沿岸防犯協力会 ・暴力追放青森市民会議 ・青森県防犯協会連合会 ・青森地区防犯協会 ・青森南地区防犯協会
2	客引き行為等防止推進事業 （H23～26：継続） （H27：拡充）	H22～	生活の安全と地域の平穏を保持することを目的に、公共の場所において、地域住民や通行人に著しい不安を与え、迷惑をかける風俗営業等に係る客引き行為等を防止するため条例を施行し、警察や関係団体と連携・協力しながら周知・啓発を図るなど客引き行為等の防止に取り組みました。 客引きと見られる者の人数は一時減少したものの、その後増加していることから、平成27年10月1日から市条例を改正し客引きに対する罰金を上げました。 主な実績として警察や関係団体と連携・協力し、本町地区飲食店等へのチラシ配付、本町地区の電柱への看板設置を行ったほか、毎年度、広報あおもりや市ホームページなどを通じた普及啓発を行うとともに、毎月、客引きと見られる者の人数の調査を行っています。
3	防犯灯維持管理事業	H27～	青森市防犯灯LED化ESCO事業委託業務の開始に伴い、委託業者からの提案に基づく寄附行為により、毎年度LED式防犯灯の新設を行っています。 委託期間：平成26年10月1日～平成36年12月31日 【新規設置の実績】 ・H28年度 63灯 ・H29年度 59灯
4			

## 3. 施策の総合評価と今後の課題

### 【総合評価】

防犯団体への支援のほか、客引き等防止の啓発活動や、夜間の歩行者の安全と犯罪防止のための市内への防犯灯設置など、明るく住みよい地域づくりの実現に向けた事業展開により、指標の実績値は目標値に達しました。

### 【今後の課題】

刑法犯認知件数は減少してきているものの、犯罪の巧妙化・悪質化による被害が社会的な問題となっていることから、地域の防犯意識の高揚と、関係機関や団体と連携した防犯対策を進める必要があります。

地域防犯団体の担い手不足・高齢化が進む中、安全・安心な生活環境を確保していくため、多様な主体の連携による地域防犯力の強化、活性化を図る必要があります。

## 4. 今後踏まえるべき環境変化

1. 施策の基本情報

施策番号	5 - 4 - 3	施策名	消費者自立支援対策の推進						
施策の現状と課題	市民が安全・安心に暮らせるよう、悪質商法など消費者トラブルが一層多様化・高度化する中で、消費者トラブルの未然防止・拡大防止に向けて、市民への注意喚起の徹底や相談支援体制の充実が求められています。								
施策の概要	消費生活上の被害を防ぎ、消費生活の安全確保を図ります。 《安全・安心な消費生活の促進》								
目標とする指標		基準値	実績値				傾向		
		H27	H28	H29	H30	H31	H32		
① 啓発事業などへの参加者数  消費生活に関する各種啓発事業における参加者数  (単位：人) (指標の方向：+)	目標値	2,838	2,850	2,850	2,900	2,950	3,000		
	指標値	2,838	2,591	3,403	**	**	**		
	達成率	/	90.9%	119.4%	**	**	**		
	進捗状況	実績値は年度において増減しているものの、既に目標を達成しています。							
達成度 <sup>※</sup>	A								
② 被害に遭わないよう気をつけている市民の割合  消費者トラブルや悪質商法の被害に遭わないように気をつけている市民の割合  (単位：%) (指標の方向：+)	目標値	90.8	92.7	92.8	92.9	93.0	93.1		
	指標値	90.8	91.2	-	**	**	**		
	達成率	/	98.4%	-	**	**	**		
	進捗状況	基準値より増加し順調に推移しています。また、基礎データとなる調査の内容が平成29年度から変更となったため平成29年度は実績なしとなっています。							
達成度 <sup>※</sup>	B								
③  (単位：) (指標の方向：)	目標値								
	指標値								
	達成率	/							
	進捗状況								
達成度 <sup>※</sup>									
④  (単位：) (指標の方向：)	目標値								
	指標値								
	達成率	/							
	進捗状況								
達成度 <sup>※</sup>									
市民意識調査	満足度調査				ニーズ度調査				
	項目内容	消費者が自らトラブルを回避できるような意識啓発が進み、注意喚起などの情報提供や消費生活相談機能の充実が図られている				H28 第 68 / 75 位			
	区分	満足・やや満足	普通	不満・やや不満	わからない・無回答				
	年度	H28	9.5%	46.8%	16.1%				

※ 「目標とする指標」における達成度  
A・・・順調 B・・・概ね順調 C・・・やや遅れ D・・・遅れ



## 2. 施策における主な事務事業と実績

	事務事業名	実施年度	事業（実績）内容
1	消費者教育啓発活動推進事業 (H27～29：継続)	S46～	消費生活に関する知識の普及や意識の高揚を図り、市民の消費生活上のトラブルを未然に防止するため、消費者教育・啓発活動・情報提供を実施しました。平成29年度は、出前講座、広報あおもりの特集記事、市ホームページ・携帯サイトの「消費生活情報」、市民消費生活センター前のパンフレット掲示などにより情報発信を行いました。主な実績として、消費生活出前講座受講者数等が平成28年度は2,591人、平成29年度は3,403人となっています。
2	消費生活相談事業 (H27～29：継続)	S49～	消費生活に関するトラブルや多重債務で悩みを抱えている市民を救済するために、消費生活相談（多重債務相談含む）に対応し、トラブルの解決及び生活再建の支援等を行いました。主な実績として、消費生活相談件数が平成28年度は1,238件（うち多重債務相談48件）、平成29年度は1,327件（うち多重債務相談72件）となっています。平成29年度は、高齢者等を見守るネットワークの仕組みを新たに構築し、消費者被害の防止と市民生活の安全・安心の向上を図る「相談窓口紹介ネットワーク」活動を開始しました。主な実績として、説明会等参加者が平成28年度は42人、平成29年度は1,397人となっています。
3	計量検査事業 (H27～29：継続)	S28～	消費生活上の被害を未然に防止するために、取引・証明に使用するばかりの定期検査や、各種計量器・量り売り商品を販売している店舗への立入検査を行いました。主な実績として、量り売り商品の立入検査点数が平成28年度は606個、平成29年度は647個となっています。
4			

## 3. 施策の総合評価と今後の課題

【総合評価】  
消費生活情報の普及啓発については、出前講座開催等により、施策の指標である「啓発事業などへの参加者数」は目標を達成していますが、依然として青森市民消費生活センターにおける消費生活相談件数は年間で約1,300件前後あります。

【今後の課題】  
相当数の消費生活相談件数があり、ますます高度化・多様化する悪質商法などの消費生活に関するトラブルを未然に防止するため、継続的な普及啓発を展開する必要があります。

## 4. 今後踏まえるべき環境変化

青森市の高齢化率の推計 H27…28.5%、H57…47.7%

